

総務常任委員会閉会中の調査報告

平成 24 年 8 月 30 日(木)

午後 1 時 20 分～4 時 40 分

出席者 塚本 望月 坂田 伊地智 加藤 議長

説明者 市民環境部長 次長 他

調査事項

湖南省コミュニティバスの現状について

□現地調査

湖南省コミュニティバス（めぐるくん）乗車

下田線甲西駅ルート

菩提寺線甲西駅ルート

□議事（第 1 委員会室）

質疑

Q：現状の路線ルートに関して問題はないか。

A：ルート決定については、「湖南省コミュニティバス運行を考える市民会議」（以下、市民会議）にて、市民要望（区長要望、市長への手紙等）を参考に議論して決定している。

Q：市民会議は、現在開催されているのか、また委員の構成は。

A：7 月 18 日に今年度、第 1 回の会議を開催。委員の構成は、区長、商工会等各種団体からの代表及び公募委員（今年度は 1 名）の合計 15 名。会議は毎年 4 回程度実施。

Q：市民会議の委員は、コミュニティバスを利用しているのか。実際にバスを利用している方から意見聴取することが必要ではないのか。

A：区長さんは、地元の意見も踏まえ路線ルートの実情を理解していただいている。意見聴取についてアンケート等の実施も必要と考えている。

Q：バス事業全体の抜本的改革等を具体的に議論するのはどこになるのか。

A：現在は、路線ルートについて市民会議で議論されている。

Q：元々の路線ルートを決めた基準はあるのか。

A：旧石部について、JR 石部駅のダイヤを基準に、学校等の主要施設を定めルートを決めた。

意見

- ・路線ルートに関して、市民からの要望をすべて聞くと経費がかかる。ルート



の見直しも含め検討が必要。

- ・本日乗車した時間帯は、利用者の少ない時間帯であり、利用者の多い時間帯に乗車してみることも必要。

- ・現状の、バス路線で市内全域をカバーすることは不可能であり、地域の中をカバーできるデマンド型のバスを運行させ、現在のバスは、メイン通りだけを走らせることを検討してみてもどうか。(地域内運行は、市民が運営する方法も可能か検討)

- ・高齢化に伴い、公共交通の必要性が増してくるなかで、コミュニティバスのあり方も含め、公共交通政策について議論する場（会議体）を明確化する必要がある。

- ・議会として、コミュニティバスのあり方について提言することも必要。

今後

- ・これからも、コミュニティバスについての調査研究を行う。

- ・8月に予定し延期された先進地研修を行う。



(座席が収納され車椅子で乗車することができる)



(湖南省コミュニティバス『めぐるくん』乗車)